

# 松江赤十字病院 『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただくことが必要です。」  
このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。

# くつぎたいは

## 第31号(2010年 冬号) 松江赤十字病院

### 病院理念

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

## 年頭所感

院長 秦 公平



明けましておめでとうございます。本様が皆様にとりまして、良い年でありますよう、お祈り申し上げます。昨年、高層棟が完成し、今年に移転します。新館を壊して低層棟ができる平成二十四年まで、外来は一部を除いて現在のままとりまして、病棟は高層棟に移り、大部屋は四床室となり今の病棟よりは随分良くなるのではないかと思います。

昨年、政権交代がおり民主党政権となりました。事業仕分け等、自民政権時代ではな

しえなかつたようなことが行われていきます。仕分けにも色々問題はありそうですが、情報公開という点では良いことではないでしょうか。自民党も民主党も終盤には、医療制度改革路線を転換し、今後は医療費を増加させると発表してまいりました。その結果、昨年末に来年の診療報酬改定で〇・一九%の増(一〇年ぶり)ということが決まりました。小泉内閣医療制度改革によって診療報酬が引き下げられたことにより、多くの病院は経営難となり、破産する病院も増えてきました。経営の悪い自治体病院も統合・整理などが話題になっていますが、地域医療を守るためには致し方ないところでしょうか。

改訂の具体的な部分は今後中央社会保険医療協議会(中医協)で決められることとなります。中医協といえども今までの委員として入っていた自民党支持の日本医師会の方が全てはずされ、医師会の中でも民主党寄りの委員が任命されています。民主党もある程度マニフェストを執行しないとたないと判断したのでしょうか。これからは中医協で話し合われる改訂の内容に注目がいくこととなります。

また臨床研修制度を契機として、地方では医師不足が顕在化してきました。島根県でも西部の方の医師不足は目に余るものがあります。これは臨床研修制度が始まりの時に二年間は各診療科に医師の入れ替えがなかったこと、研修医がほぼ自由に研修病院を選ぶことができると、まず都会の病院を選んだことで地方の大学の医師が足りなくなり、教室を維持させるために地方から医師を引き上げたことが原因です。東西に長く、離島や中山間地の多い島根県では、それぞれの圏域に三〇〇〜四〇〇床の基幹病院がありますが、この基幹病院すら医師不足で十分な医療を行えない状況になりつつあります。そのような病院でも救急をやめることはできません。医師は疲弊して辞める者も出てくるという悪循環に陥っている訳です。もう何年かは医師不足が続きます。その間、地域の医療が崩壊せぬよう残る勤務医が頑張らなければなりません。そのためには患者さんのご協力が必要なことを申し上げて、新年のご挨拶と致します。今年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。

# チーム医療紹介

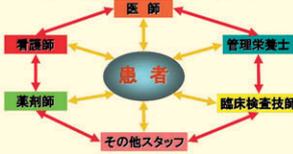
## 糖尿病チーム

これまでシリーズで当院のチーム医療をご紹介させていただきましたが、今回は最終回で、私どもの糖尿病の医療チームを紹介させていただきます。

糖尿病では日常生活のあり方が、治療に大きな影響を及ぼすため、薬での治療以上に食事を含む生活指導が重要と考えられています。そのため「糖尿病は教育の病気」とも言われ、糖尿病のチーム医療の歴史は古く、以前から医師や看護師だけでなく、栄養士、薬剤師など、糖尿病の医療に携わる様々な職種の間が協力して指導、治療に当たってきました。

当院では、患者さんの色々な需要に応えるため一週間

### 糖尿病治療はチーム医療



と二週間のオースドックスな教育入院コースの他、糖自己測定（SMBG）マスタワーのための三日間コース、増え続ける糖尿病性腎障害の患者さんのための一週間コースなどを設けています。

病棟での指導は、生活指導全般を看護師、食事指導を栄養士、服薬指導を薬剤師、自己血糖測定指導を検査技師、口腔ケアを歯科衛生士、運動指導を理学療法士が、それぞれ担当していますが、バラバラに指導に当たるのでなく、毎週行われるチームカンファレンスで患者さんの情報の共有を行い、チームとして統一した対応が取れるようにしています。



教育入院は病棟で行われますので、病棟看護師はチーム全体の調整を行うチーム医療の要（かなめ）的役割も担っています。医師は薬のさじ加減はいたしますが、チーム医療、特に指導においては、他の職種の方々と横

任を担っていますので、糖尿病教育チームの多くの人たちが、糖尿病療養指導士の資格を持ち、質の高い医療となるように心がけています。糖尿病の入院病棟はこれまで本館四階病棟でしたが、三月からは新病棟の九階西病棟となります。

並びの対等の立場での参加となります。退院に際して社会的支援が必要な患者さんの場合には、ケースワーカーも参加します。

チーム医療ですから、他職種の仕事、指導内容の理解が不可欠ですし、それぞれの担当領域の責

外来での糖尿病の指導は、急性期病院への外来抑制の政策誘導のため、困難な時代を迎えています。糖尿病専任の外来看護師が置けなくなり、医薬分業推進のため、院内薬剤師の外来患者さんへの服薬指導が出来なくなりました。そのため、外来看護師やメディカルクラークの方々も借りながら、栄養相談室の栄養士と生活指導室の保健師が大車輪で、正に八面六臂の活躍で指導に当たっています。当然、電子カルテでお互いの指導内容の確認を行いながら、教育チームとして統一した対応が取れるようにしています。

# 助産外来を開設しました



当院では、平成二十一年十一月より助産外来を開設致しました。

正常な妊娠経過をたどる妊婦さんを対象とし、助産師が医師と連携しながら、責任を持って妊婦の健康診査と保健指導を行います。助産師は、妊娠中や産後の健康管理、出産、母乳のケアなどの女性の健康に関するスペシャリストです。

妊娠中の不安や疑問などに対して、経験を積んだ助産師が、変化していく身体を理解し、妊婦本来の力を引き出し、楽しみながら過ごせるように

お手伝いしていきます。

妊娠経過が正常で、助産外来を希望される方が対象となり、妊娠二六週、妊娠三二週、妊娠三八週を助産師が担当し、その他の時期では医師が担当しています。母体の健康チェックや、胎児については超音波で胎児心音や胎児の位置の確認などを行います。医師とは常に連携しながら、必要時速やかに相談、紹介を行っています。

完全予約制であり、一人に約三〇分かけ、妊婦さんとしっかり向き合い何でも相談できる雰囲気をお大切にしています。

安心して妊娠中を過ごし、健やかな子育てにつながる母子とその家族の支援を目指していきます。受診について詳しいことは産婦人科外来や病棟の助産師に声をかけてください。

# 新病院高層棟竣工

## 新病院建設室



新年明けましておめでとございます。  
 平素は病院建設につきましてご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。  
 当院では年末に高層棟の竣工を迎えることが出来ました。ひとえに皆様方のご協力により大きな事故もなく、無事一期工

事を終えることが出来たことを嬉しく思っています。  
 さて、新病院について説明します。  
 急性期医療を目標とした病院づくりとして、救命救急センターの更なる充実を図り、外来

部門は原子力災害にも対応できるように除染室が設けてあります。病棟部門は二階に十五床あり、四階には、特定集中治療室(ICU)と冠動脈疾患集中治療室(CCU)を手術室の隣に併設しております。屋上には地域災害拠点病院として、災害時の救護活動に対応で

きるヘリポートを整備し、第三次救急の機能を備えた体制にしています。また、新生児については新生児特定集中治療床(NICU)六床を六階周産期・小児センター内に設け、小児の医療にも配慮しています。次に、一般病棟部門です

が、病棟は五階から十二階までで、病床については個室と四床室を基本としています。患者様のアメニティーに配慮するため四床室は二部屋



病棟スタッフステーション

に一つ、個室にはそれぞれにトイレを設置してあります。病室は一床あたり八平方メートル以上の広さでゆとりあるスペースを確保し、各病棟の食堂内にサテライトキッチンを設け、病棟配膳による温かな食事を提供します。その他の特徴として、自宅分娩の雰囲気を出産できるLDRルームと第一種感染症病棟をそれぞれ二室整備し、機能的で優れた療養環境としています。また、水害時において



13階レストラン

も機能維持できるように、病院建物周囲には防水板を設置し、水の浸入を防ぐようにしています。さらに、地域の医療機関との連携を強化するため、開業医様に利用していただく病床のオープン化、検査の受託、画像診断サービスをこなしてまいります。しかし、今後

続いて二期工事に向け新館・本館の解体、低層棟の建築など、近隣住民の皆様や患者様には、振動と騒音等々ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただけますようお願いいたします。



ヘリポートからの琵琶湖

## 新病院高層棟見学会のご案内

### 2月14日(日) 10:00~16:00

新病院高層棟をご覧いただくため施設見学会を開催します。

駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用下さい。

# クリスマスキャンドルサービス



検査部  
朽木達也

毎年恒例、クリスマスのキャンドルサービスに今年

初めて参加しました。「きよこの夜」と「もろびとこぞりて」のクリスマスソング二曲を合唱しました。

当日は二つの班にわかれて、各病棟を幻想的なろうそくの灯りで照らす中を歩きまわった。各病棟を歩いて回っている間、病室奥のベットの隅から見つめておられる患者様や、手を振ってくれる患者様、僕たちの近くでこやかに手拍子をしてくれる患者様や、一緒に歌ってくれた患者様、そしてそのご家族のみなさんに、スタッフの方々、いろいろな方の

顔を見て、少しでも和やかな温かい時間を過ごしていただけたのではないかと思います。喜ばしいことです。僕も歌い歩きながら、みなさんと一体感ある雰囲気になって、包まれて穏やかな優しい気持ちになりました。とても有意義な時間となりました。

### 新四病棟

安田 由美香

今回クリスマスキャンドルサービスに初めて参加させていただきました。練習が少ししかできません本番に向けての不安はありましたが、患者様にきれいな歌声を聴いていただきたいと思いついて、メロディを一生懸命覚えました。

当日は、炎の灯ったキャンドルを片手にステップを踏みながら曲を歌い、とてもきれいで幻想的な雰囲気でした。患者様も聖歌隊と歌を穏やかな表情で見て聴いていました。後に患者様より「とてもきれいでしたよ」「サンタさんも来てくれました。嬉しかったです。」という言葉をいただきました。その言葉を聞き、毎日治療で頑張っておられる患者様方にもいつもとは違う刺激、また癒しの場を提供できた事がとても嬉しかったです。初めは人前で歌うのがなんだか恥ずかしかったキャンドルサービス。今は参加できたことに喜びを感じています。

## メッセージは電波にのって

### 松江日赤メデイカルトーク

#### がん相談支援センター

診察室で聞きなれた先生の声がラジオから……。エフエム山陰の朝の番組「朝ピタ」のワンコーナー「松江日赤メデイカルトーク」が九月からスタートしました。

肺がん、胃がん、乳がんなど悪性疾患をがん種別に早期発見の大切さや治療などの情報や予防法など、番組のパーソナリティ、益村

千代さんからの質問を、松江赤十字病院のDRが分かりやすく解説する番組です。緊迫した救急外来や診察室では、ときばきと診察や処置に当たる先生方。普段と勝手のちがうラジオ局のスタジオで聴診器をマイクに持ち替えて大丈夫？と心配したのは取り越し苦労でした。簡単な打ち合わせの後の収録はどの先生も一

発OK。益村さんの質問にもスラスラと答えて、十分間の番組はすぐに完成しました。がん診療拠点病院の啓発事業の一環としてはじめたこの企画ですが、先生方の「がんに少しでも関心をもって！」の思いは電波にのって山陰両県へ。一人でも多くの方がこの放送を聴いて、自分自身や家族の健康に関心を持ってもらえらることを願っています。

### 毎月第四金曜日

朝九時ごろ

### 二月「大腸癌について」

### 消化器内科 串山副部長 三月「子宮頸がんについて」 産婦人科 藤協副部長



## ☆料理の世界☆ 出世して名前が変わるブリ

栄養課

奥野 将徳



### ブリのお造りとブリ大根



冬の寒さが一番厳しい小寒から大寒の時期に旬を迎える魚介のことを寒魚と呼びます。中でも寒ブリはとて有名です。背側は造りで、脂ののった腹側は焼いて大根おろしなどで、また照り焼きもいのですね。そして腹身を薄造りにしたものもいしゃぶしゃぶにしてもいけます。ブリが出世魚と言うのは有名で、縁起物として年末年始に口にされた方は多いと思います。参考までに呼び名は関

西ではワカナ、ハマチ、メジロ、ブリ、関東ではワカシ、イナダ、ワラサ、ブリと呼び名が変わり出世していきます。あとブリと言えば大根と一緒に煮るブリ大根。なぜブリと大根なのでしょう？ 白身のタイと大根を煮ても、まったく旨くなく、これは鯛に油がなく大根に味がしみ込まないからなんだそうです。また回遊魚のマグロでやるとマグロが固くなって、これもダメみたいです。白身魚と回遊魚のいいところを取っているのがブリで、いろいろな経験の中から生まれた日本人の知恵はすごいと思います。EPAやDHAを多く含むブリ、出世魚ブリのように一年一年成長していければいいですね。

